

持続可能な社会づくりのために!!

社会的関心が高まっている、社会・環境に配慮した消費行動である「倫理的消費」(エシカル消費)の普及・啓発を図るとともに、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動することができる消費者力の育成を目指して、本年度次の2つの取組が行われています。

\*エシカル消費の例として、障がい者支援につながる商品等の消費、環境保護等に関する認証がある商品等の消費、地産地消、被災地産品の消費などがあげられます。

「エシカル消費」リーディングスクール事業

多様な主体と連携して、全国モデルとなる「エシカル消費」の推進を目指します。

【取組例】

- ・本藍染め商品の開発、伝統野菜を使った調理法の研究など
- ・有機栽培作物を使った安全安心な商品の開発など

【平成29年度実施校】

○城西高等学校

城西発「エシカル消費」の発信と啓発

～私たち高校生だから出来ること、伝えたいこと～

○吉野川高等学校

私が変わる世界が変わる「吉高エシカルプロジェクト」

～持続可能な農業を核とした安全安心な商品開発とエシカル消費の推進～

城西高校



吉野川高校



高校における「エシカルクラブ」推進事業

学校の「強み」を活かした取組を行い、身近なところから「エシカル消費」を広めます。

【取組例】

- ・文化祭での啓発活動
- ・被災地支援バザー
- ・地産地消の研究
- ・環境保全活動 など

【平成29年度実施校】

- 城南高等学校
- 徳島商業高等学校
- 富岡東高等学校
- 那賀高等学校
- 川島高等学校
- 池田高等学校
- 城北高等学校
- 小松島西高等学校
- 阿南工業高等学校
- 板野高等学校
- つるぎ高等学校
- 池田高等学校三好校

\*今後3年間ですべての公立高校が取り組みます。



\*本年度実施校12校の詳しい取組については、パネル展をごらんください!

TOKUSHIMA消費者教育活性化事業

賢い消費者・自立した消費者をめざして!!

本事業は、平成25年度から実施し、本年度までに34校が実践校として指定され、体験的な学習活動や社会貢献活動、学校・地域間連携、地元の食材を生かした商品開発、食品の安全に関する啓発活動を通して、子供たちの消費者力を育成することに取り組んでいます。

また、徳島弁護士会や徳島県消費者情報センター等と連携し、学校における消費者教育を支援するための「講演・出前授業」を実施しています。

さらに、県内小中高校生から消費者被害の未然防止や消費生活の向上を呼びかける啓発ポスターを募集し、本年度は次の優秀作品を決定しました。

【平成29年度研究実践校】

- 上板町立高志幼稚園
- 上板町立高志小学校
- 阿波市立大俣小学校
- 上板町立上板中学校
- 那賀高等学校
- 吉野川高等学校

【平成29年度消費者被害防止啓発ポスター優秀作品】



最優秀賞  
三加茂中学校2年  
松浦 愛さん



優秀賞  
小松島西高校2年  
小松 里奈さん



優秀賞  
勝浦中学校1年  
谷内 杏さん



優秀賞  
城ノ内高校1年  
中矢 千尋さん

あわ (OUR) 教育発表会

～広げよう徳島の教育 育てよう未来を切り拓いていく子供たち～

これからの社会において必要となる「生きる力」を支える「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の育成をテーマに、創意工夫を生かした特色ある教育活動を積極的に展開する学校・園等がポスターセッションを行い成果を広く普及するとともに、県内における教育に関するネットワークを築き、今後の幼稚園・幼保連携型認定こども園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の教育活動について一層の改善・充実を図る。



日程

10:00	10:30	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00
受付	開会行事	全体発表	昼食	ポスターセッション① フリートーク	移動	ポスターセッション② フリートーク
				移動	ポスターセッション③ フリートーク	閉会行事

開催日：平成29年12月26日(火)

会場：徳島県立総合教育センター

主催：徳島県教育委員会

発表一覧

種別	発表校・園・機関	テーマ	概要	要	順位	
ホール (全体発表)	東みよし町立加茂小学校	かもっこスマイルプロジェクト2017～KSP第2弾!!～	2年目を迎えたかもっこスマイルプロジェクト(KSP)。今年は全校で一斉に目標に取り組む方式に加え、各学年で設定した目標に取り組んだ成果を全校に広げる方式も採用し、新たな可能性を模索している。ポジティブ行動支援で学校がどう変わったのか報告する。		①	
	徳島県立城西高等学校	徳島から全国そして世界へ～「エシカル消費」認知度70%を目指して～	農業科では、GAP取得、本藍染め、伝統野菜の継承、地産地消や食品ロス削減など、総合学科では、エコやりサイクルの取組、伝統野菜料理レシピ作成、エシカルに関するカルタや絵本の制作など、各学科各教科で取り組んでいる「エシカル消費」やそれを広める活動を発表する。		②	
	【全体会サテライト会場】…大研修室					
	上板町立高志幼稚園 高志小学校	かしこい消費者になろう	生産・消費に関する地域での体験・交流活動を通して感じ・気づき・分かる子どもを育てる。さらに、消費活動に関して合理的な意思決定ができ、消費者として持続可能な社会の構築のために、積極的に行動できるエシカル消費者になる取組を発表する。		①	
大研修室(A)	佐那河内村立佐那河内小中学校	「特色」と「魅力」あふれる小中一貫教育校をめざして	本校は、小1からの9年間を通じた英語教育、小中教職員がダブルの目で育てる乗り入れ授業、ホワイトボードミーティングや合同研修を核とした授業改善等に取り組んでいる。特色ある小中一貫教育校への移行のための学校組織マネジメントと全教職員協働の取組を発表する。		②	
	美馬市教育委員会 美馬市立美馬小学校 美馬中学校	小中学校種間の「学び」の円滑な接続を図る	美馬中学校区では、徳島県学力・学校力向上支援事業の指定を受けて、「小中学校種間の学びの円滑な接続を図る」をテーマに児童生徒の学力向上を図る取組を進めている。小学校統合に向けた小学校間及び小中学校種間の連携による3年間の取組について報告する。		③	
	徳島市入田小学校	少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業	「ホワイトボード・ミーティング」を活用した授業の活性化、信頼ベースの学級づくりを土台とした自己肯定感や学習意欲の向上、小中連携した9年間を見通した教育活動、地域資源を生かした豊かな学びの実現等、これまでにやってきた実践について発表する。		①	
大研修室(B)	徳島市国府小学校	主体的・対話的で深い学びにつながる道徳の時間の実践事例	道徳科における主体的・対話的で深い学びは、子供の道徳性を培うことを目的としている。質の高い多様な指導方法により、道徳的課題を一人一人が自分自身の問題として捉え、向き合う「考える道徳」「議論する道徳」への質的転換を図る実践研究に取り組んだ。		②	
	総合教育センター 平成28年度長期研究員 (加茂名南小学校)	「知識構成型ジグソー法」を取り入れた理科授業の実践	理科教育における、思考力・表現力の育成に効果的であると言われていた「知識構成型ジグソー法」を取り入れた授業案を提案し、その実践を通して見えてきた、この手法のもつ特徴と実践の成果と課題について報告する。		③	
	鳴門市大森中学校	つながり 広がり 未来につづくダンス学習	表現運動を通して、仲間と共に創作していくなかで協力することの楽しさや、互いのちがいや良さを認め合おうとする気持ちを育てる。「仲間と共に運動の楽しさを味わい生涯にわたって運動に親しむ資質や能力をはぐくむ体育学習」として表現運動の授業実践報告。		①	
研修室1(A)	国立大学法人 鳴門教育大学教職大学院 (半田中学校)	中学校における課題を抱える生徒への援助を目指す教育相談活動	生徒は学校や家庭における複雑な人間関係の中で、安心と不安の間で揺れながら生活し、不登校や非行、学業不振等の生きづらさを抱えている場合もある。そのような生徒を教職員の協働によって見守りかわる教育相談活動を通して得られた気づきを発表する。		②	
	美馬市立江原中学校	互いに認め合い高め合う生徒の育成～道徳教育の推進を通して～	「あたたかく、清々しい学校～認め合い、高め合う～」を教職員・生徒の合い言葉にして実践した取組について発表する。 ○道徳の教科化に向けた「量的確保」、「質的向上」のための取組 ○体験活動や学校行事等の更なる充実に向けた工夫改善		③	
	国立大学法人 鳴門教育大学教職大学院 (小松島高等学校)	高等学校における全校一斉生徒授業の取組	県立小松島高等学校で平成29年度7月に全校一斉生徒授業を実施した。この取組に向けた教材の開発、事前準備、授業の実際、全校生徒の反応などの概要を説明する。		①	
研修室1(B)	徳島県立城ノ内中学校 城ノ内高等学校	新たな学びに関する教員の資質能力向上のためのプロジェクト	「新たな学び＝アクティブ・ラーニング(主体的・対話的で深い学び)」実現のための研修プログラムモデルの構築を目的とした本プロジェクト実践フィールド校である徳島県立城ノ内中学校・高等学校における、アクティブ・ラーニングの取組について発表する。		②	
	徳島県立川島中学校 川島高等学校	中高が連携して取り組む主体的な学びの実践～アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善～	本校は、平成27年度から研究指定校として「言語活動の充実」や「アクティブ・ラーニングの視点からの学習・指導方法の改善」に中高連携で取り組んできた。その成果や中高連携による学力向上及び授業改善の取組を発表する。		③	

種別	発表校・園・機関	テーマ	概要	要	順位
研修室2	徳島県立脇町高等学校	スーパーサイエンスハイスクールの取組	第2期スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校として文理融合のSSH活動を全生徒を対象に展開している。特徴的な取組である「協働的問題解決学習」「美馬市と連携した地域活性化対策」「クリティカルシンキングを育てる教材開発」「課題研究」などについて発表する。		①
	徳島県立つるぎ高等学校	Mimakara世界へ駆け出す地方創生プロジェクト	本校では工業科・商業科併設校としてのメリットを最大限に生かし、地域の特産品「みまから」の6次産業化や地域のニーズを活用した「にし阿波」の観光促進、地域資源の海外(台湾)へのPRなど、地域創生に貢献できる人材を育成する教育について発表を行う。		②
	徳島県立那賀高等学校	農村舞台での人形浄瑠璃公演活動から阿波の政治・経済を研究する	本校人形浄瑠璃部は、部に昇格し3年目である。多くの公演活動を行ってきたが、徳島県内の中山間地に多く残存する農村舞台の特性やその歴史について、またその政治経済との関係に興味を持ち、本研究を始めた。これまでの取組や今後の課題について発表する。		③
研修室3	徳島県教育委員会	「徳島サマースクール2017」参加高校生による体験報告	8月16日～22日までの1週間、県内外の高校生50名が、英語をベースに「同世代」の国内外の大学生ら42名と、少人数セミナー・フォーラム・ワークショップ・フリーインタラクティブなどの特色あるプログラムで「世界」を体験。		①
	阿波市立久勝小学校 伊沢小学校 林小学校 阿波中学校 徳島県立阿波西高等学校	阿波中学校区における外国語教育強化地域拠点事業の取組	阿波中学校区では、文部科学省の委託を受け、新学習指導要領の実施に向けた外国語教育の研究を進めている。11月の実践研究報告会で発表した、外国語教育の早期化・教科化に対応した効果的な教育課程や学習内容、指導方法等を紹介する。		②
	国立大学法人 鳴門教育大学教職大学院 (池田高等学校三好校)	しなやかに生きる社会人の育成を目指したキャリア教育の在り方	生徒に毎日の学びを記録させ、身に付けたい力との結び付きを考えさせる「進路ノート」の取組を中心に、キャリア教育を意識した授業作りやワークショップ型研修を行った。しなやかに生きる社会人の育成を目指したこれらの実践に関して、成果と課題を発表する。		③
	阿南市立椿保育所 椿小学校 椿泊小学校 椿町中学校	小規模な保育所・学校の特性を生かした保・小・中の連携	本校区では、分散型小中一貫教育いわゆる「チェーンスクール」の取組に加え、「学びのかけ橋プロジェクト」において、小規模な保育所と学校の特性を生かした保・小・中の連携を進めている。保・小・中の15年間の学びを見直し、円滑に接続できるように取り組んできた実践について報告する。		①
研修室4	那賀町立あいおいこども園	ふるさとの温もりに支えられ生きる力を育む	子どもたちの豊かな育ちには、たくさんの地域の人たち・自然環境・文化(生活)の存在なくては成り立たないと考える。子どもたちが安心感を持って十分に自己が発揮できるようにと取り組んでいる体験活動を発表する。		②
	鳴門市第一幼稚園	生き生きと活動し、健やかな心と体を育むためには	本園では、幼児の実態から、体の諸機能が十分発達していない状況が見られた。そこで、幼児が主体的に体を動かし、気持ちよさを感じられるためには、どのような環境構成や教師のかかわりが必要であるかを、実践をととして研究を進めてきた成果を発表する。		③
研修室5	総合教育センター 平成28年度長期研究員 (新野小学校)	アクティブ・ラーニングの視点に立った国語科の授業づくり	言語活動の種類や特徴を捉えた一覧表の作成に取り組んだ。その一覧表をもとに、育成すべき資質・能力と密接に結び付いた言語活動を設定し、「習得と活用を繰り返す学習指導過程」を位置付けた授業実践を行った。その成果と課題を発表する。		①
	阿南市立新野東小学校	伝え合う力と豊かな心を育むNIE(新聞活用学習)	一昨年度より新聞を活用した学習に取り組んでいる。「学校や地域のよさ」を発信する新聞作りや、テーマに沿って記事や写真を切り抜き、作品に仕上げる活動等を通して、思いや考えを伝え合い、豊かな心を育むことをめざし、積み重ねてきた実践を発表する。		②
315研修室	鳴門教育大学 附属特別支援学校	特別支援学校における協働意識の高まりを目指す実践とその考察	国立大学附属特別支援学校(42校)に、学校の協働性を把握するための質問紙調査を実施した。その分析結果を基に、国立大学附属学校の使命である学校研究に焦点を当て、自校の協働意識の高まりを目指す実践に取り組んだ。その成果と課題について報告する。		①
	総合教育センター 平成28年度長期研究員 (大津西小学校)	小学校の通常学級における支援について～学級経営とユニバーサルデザインの視点から～	小学校の通常学級に見られる児童の「気になる行動」の改善に、学級担任が取り組むための、児童の実態把握や「気になる行動」を分析できるチェックシートと、賞賛による行動の強化や改善に向かう「褒めるサイクル」を活用できる支援シートを作成した。2つのシートを活用した実践事例について発表する。		②
	徳島県立板野支援学校	地域の伝統を活かしたキャリア教育の取組～お接待をととして～	①本グループの生徒の実態に応じた、四国霊場8カ所やお遍路さん、お接待という文化について知るための指導。 ②今年度8回予定しているお接待や事前事後学習において、生徒一人一人の取り組む姿勢や意識の変容。 ③キャリア教育の視点から、お接待に関する取組による成果と課題。 ④次年度への展望。		③